

東大阪市 議会だより

No. 182

議会だより編集委員会

東大阪市荒本北1丁目1番1号

平成26年5月15日発行 電話06(4309)3294 FAX06(4309)3868 <http://higashiosaka.gijiroku.com/gikai/>



色とりどりに咲き競う季節



春夏秋冬

(なるかわ園地)

穏やかな陽気の中、ツツジの花が春を彩ります。



平成二十六年第一回定例会は三月三日から三十一日まで、会期延長を含め二十九日間にわたって開きました。

水道事業会計当初予算を修正可決

文教・建設水道・総務委員会は審査期限を付し終結

第1回定例会

— 3月3日～3月31日 —

平成二十六年第一回定例会は三月三日から三十一日まで、会期延長を含め二十九日間にわたって開きました。

この定例会では、市長から平成二十六年年度の各会計当初予算や景観条例制定など五十一案件が提案され、審議を行いました。

そのうち前定例会で閉会中の継続審査となっており、三月三日に原案一部訂正された職員給与条例の一部改正を含み、一般会計補正予算など早期の決定が必要な十一案件は三月六日及び十三日に可決しました。

二十八日の本会議では、会期延長と審査を終えていない文教、建設水道、総務委員会に審査期限を最終日正午とする決定をしました。

最終日には、採決を終えた民生保健、環境経済委員会と審査期限を経過した三委員会の全委員会が審査を終了しました。

その後の本会議では、米田英教議員ほか四名から提出された一般会計及び水道事業会計予算の修正案を可決しました。

このほか、三月十一日、十二日、十三日には代表・個人質問合わせて十四名の議員が質疑、質問を行いました。

今定例会の経過

第一回定例会を控えた二

月十日、初めての試みとして、全議員を対象とした素案段階での議案説明会を開催しました。

これは、各党派勉強会での指摘とその回答を各議員が共有し、また、理事者はここでの議論を受け、再検討した議案を提出することにより、定例会を円滑に進めることを目的としており、活発に議論され、様々な指摘がありました。

事前説明会での指摘を踏まえ、一部修正が加えられた提案議案に対し、本会議で質疑された後、各常任委

員会へ付託され審査を行いました。

三月二十五日に環境経済、二十六日に民生保健委員会

が審査を終え、採決を残すのみとなりました。

文教委員会では、放課後児童クラブの子ども・子育て支援新制度移行に必要な条例を提案する所管等の質疑に対し、答弁がでず、調整に時間を要しました。

建設水道委員会では、正確性を欠いた不適切な答弁のため時間を要し、また、総務委員会では雇用開発センターの解散に向けたスケ

ジュールの提出など、資料作成に時間を要しました。

二十八日の本会議では、三十一日までの会期延長を決定し、また、文教、建設水道、総務委員会における付託議案の審査期限を三十一日の正午までとする決定をしました。

三十一日の最終日、民生保健、環境経済委員会は採決を終え、また、文教、建設水道、総務委員会は審査期限である正午を過ぎたため、五委員会すべての審査が終了しました。

その後の本会議では、予算の修正案が提出され、浅野耕世議員ほか七人から一般会計予算に対し、公共施設再編整備事業などを減額し、学校図書購入費を増額するなどの修正案が提出されましたが、否決しました。

また、米田英教議員ほか四名から一般会計予算に対し、給与事務等を民間委託する経費などを減額し、地球温暖化対策経費などを増

額する修正案と水道事業会計予算に対し、まずは上下水道庁舎建設の基本構想を確立し、基本計画を策定する修正案が提出され、可決しました。

(修正案の内容、議案の各派態度表は八面に掲載)

財産区管理委員

などの選任に同意

今定例会に提出された人事案件は、次の方の選任に同意または異議ない旨の答申をしました。

(敬称略)

公平委員会委員

北井 孝彦

財産区管理委員

大東 文男
菊田 昭男
清水 登輪
中村 功
北川 忠嗣
芝開 實
澤田 知宏
西川 洋海
高山 清
松田 健次

人権擁護委員

祝前 俊宏
石原 健治

秋山佐智子
小島 孝

石津 良行
好川 智也

山崎由起子